

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（芸術家等人材育成））
独立行政法人日本芸術文化振興会

©Fotografo ROF Studio Amati Bacciardi



ロシーニ・オペラ・フェスティバル総裁
エルネスト・パラシオ氏による
新進歌手育成

ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン芸術監督
カルメン・サントーロ氏による
コレペティトゥア育成



公開レッスン

マスタークラス受講生から選抜された数名を対象に、エルネスト・パラシオ氏とカルメン・サントーロ氏が公開形式で指導する貴重な機会をご聴講いただけます。



昨年度の公開レッスン

2024年11月15日(金) 18:30~
(開場 18:00)

昭和音楽大学南校舎 C511教室
小田急線「新百合ヶ丘」駅南口より徒歩4分
入場無料※要申込

お申し込みはこちら
(電子チケット) 

10月12日(土) 10:00
受付開始



マスタークラス受講生による 披露演奏会

マスタークラスを受講した歌手・コレペティトゥアによる演奏のほか、来年のAccademia Rossiniana “Alberto Zedda”へ推薦する歌手の選出を行います。若きスター誕生の瞬間に是非お立ち会い下さい。



昨年度の披露演奏会より

2024年11月18日(月) 19:00~
(開場 18:30)

イタリア文化会館 アニエッリホール
地下鉄「丸段下」駅 出口2より徒歩10分
一般 1,000円 / 学生 500円(要学生証)

チケット購入はこちら
(電子チケット) 

10月12日(土) 10:00
発売開始



お問い合わせ

公益財団法人日本オペラ振興会 オペラ歌手育成部「芸術家等育成事業」係
TEL 044-819-5505(平日10時~17時) / ikuseibu_master2024@jof.or.jp

主催：公益財団法人日本オペラ振興会
協力：昭和音楽大学 一般社団法人グランドオペラジャパン
後援：一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 イタリア文化会館



本事業の詳細はこちら



イタリア著名国際オペラフェスティバルの 優秀指導者を招聘して実施する 国際的オペラ歌手人材育成事業

日本オペラ振興会では昨年度に引き続き、文化庁芸術文化振興費補助金(舞台芸術家等総合支援事業(芸術家等人材育成))の採択を受け、ロッシェニ・オペラ・フェスティバル(ROF)総裁 エルネスト・パラシオ氏とベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン芸術監督 カルメン・サントーロ氏の両氏による、若年オペラ歌手とコレペティトゥアを目指すピアニストを対象としたマスタークラスを開催します。



エルネスト・パラシオ Ernesto Palacio

1946年、ペルーのリマ出身。同時代歌手の中でも最も重要な歌手の一人であり、そのレパートリーは“ベルカント・ジャンル”において特筆に値する。イタリア内外の主要劇場での公演に招かれたが、その中には、ミラノ・スカラ座、ロンドン・コヴェントガーデン王立劇場、ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団などが挙げられる。

1997年には若手アーティストのマネージメント職に就き、並行して彼らの歌唱技術や音楽的な準備も手掛ける。マネージャーとして支えた若手の中には、ファン・ディエゴ・フローレス、イルダール・アブラザコフ、ダニエラ・バルッチェローナ、ニコラ・ウリヴィエーリ、ミケーレ・マリオッティ、パオロ・ボルドーニャ、イヴァン・マグリ、リッカルド・フリツァ、ラウラ・ジョルダノ、アレッサンドラ・マリアネッリらがあり、皆前途有望な若手から、高い評価を得る一流アーティストへと成長していった。

マドリードのリアル劇場では、2008/2009年シーズンの演目「ドン・パスクワレ」を対象としたコンクールが催され、その入賞者たちの稽古を担当し、バレンシアのソフィア王妃芸術宮殿にあるブラシド・ドミンゴ・オペラ研修所や、フィレンツェの五月音楽祭劇場アカデミーでは、マスターコースも手掛けた。

ペルーのリマ開催のアレハンドロ・グランダ国際フェスティバル芸術監督。2016年よりペーザ口のロッシェニ・オペラ・フェスティバル芸術監督、2017年2月からは同ロッシェニ・アカデミー長を歴任し、同年9月からロッシェニ・オペラ・フェスティバル総裁を務めている。

カルメン・サントーロ Carmen Santoro

イタリア、マルティーナ・フランカ生まれ。これまでにチューリッヒ歌劇場、ソフィア王妃芸術宮殿、アン・デア・ウィーン劇場、モスクワ・ボリショイ劇場、ボローニャ歌劇場、ナポリ・サンカルロ劇場、ロッシェニオペラフェスティバル、マルティーナ・フランカのヴァッレ・ディトリア音楽祭、ウェックスフォード・オペラ・フェスティバル等にコレペティトゥールとして関わっている。

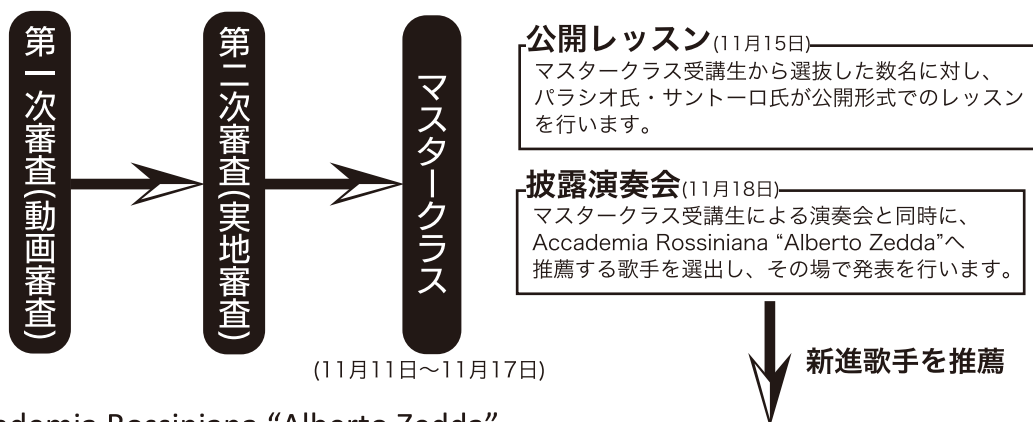
またロンドンのロイヤルカレッジオブミュージック、チューリッヒオペラスタジオ、ボリショイ劇場の若いアーティストのためのプログラム、バレンシアのブラシド・ドミンゴ・プロフェッショナルセンターでヴォーカルコーチとして指導にあたる。

2012年からチューリッヒ歌劇場で指揮者ファビオ・ルイーダ氏のアシスタントを務める。マルティーナ・フランカのアカデミー「パオログラッシ」の音楽ディレクターであるファビオ・ルイーダのアシスタント、そしてフェスティバルの音楽スーパーバイザーも努めている。

現在ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン芸術監督。



受講者選出の流れ



Accademia Rossiniana "Alberto Zedda"

毎年ロッシェニ・オペラ・フェスティバル(ROF)の期間中に開催されるアカデミーで、2016年までアカデミー長を務めていたアルベルト・ゼッダ(1928-2017)の名を冠している。2017年からはエルネスト・パラシオがアカデミー長に就任し、現在に至る。

ロッシェニ作品に特化したこのアカデミーでは、理論の講義やROFのリハーサルへの参加、声楽解釈のレッスンなどを無償で受講することが可能であり、世界各国から集った若手歌手たちのキャリア形成に大きな貢献を果たしている。

この事業を通じて 新進芸術家に対し下記の機会を提供します

- ・マスタークラス受講による新進歌手、コレペティトゥアの技術向上
- ・アカデミアへの派遣を通じて新進歌手の海外におけるキャリア形成を支援